事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部学校教育課			■担論	当係	学事係	
■評価事業名称	教育用コンピュータ整備事業						
■事業開始年度							
■評価事業コード	400200 - 001 ■会計区分 一般会計						
				力を育み、文化が躍動するまちづくり			
■総合計画での	■基本施策 01 学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上						
	■施策	■施策 04 教育環境の整備					
■事業の類型	05 ソフト事業(任意) ■政策・業務区分 政策						
■法令の根拠区分	法令の努力義務(自治事務)						
■法令等の名称							
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画						
■事 業 の 目的と概要	情報化教育の推進。教育用コンピュータの整備(借上げ)						

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	平成 27 年度事業計画	平成 27 年度事業量実績
01 教育用コン ピュータ整備 事業	小中学生	各校1人1台リース 小学校17校572台 中学校9校369台	各校1人1台リース 小学校17校573台 中学校9校369台

3. 投入コスト情報 (単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	73,416	57,541	65,322	82,454	
人 件 費	1,180	1,583	1,469	894	
その他(公債費・ 減価償却費等)					
フルコスト	74,596	59,124	66,791	83,348	

4. 評価指標等の状況

指っつ	指標 指標名 ―ド	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	1台当たりの児童・生徒数(コンピュータ室のみ)	8.7人/台	8.8人/台	8.8人/台	8.5人/台	コンピュータ教室や校内LA Nは整備したものの、普通
						教室や特別教室への整備 は進んでいない。

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ) -■目標達成状況 — ○ A. 順調

● 他と同程度の事業である

- 口标法式化油	達成状況の分析	問題点・課題等
■目標達成状況A. 順調B. 概ね順調C. 遅れている	コンピュータ教室で授業を行うにはある。	十分な台数で 国の整備目標3.6人/台には遠く及ばない
-1. 直接的な受益者の範囲 ──○ 不特定多数に及ぶ● 特定されるが多数に及ぶ○ 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響	
-4. 事業へのニーズの変化 ─ ② ニーズが高まっている ○ ニーズは変わらない ○ ニーズが低下している又は	● 順位が高い ○ 順位が中程度 合致しない	_ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _
−7. 他市町村に比較しての優位		

○ 効率化や改善を図ることは十分に可能

■事業の見直し方策	○ 遅れている事業である	○ 全部委託や実施主体の移行が	が可能 ○ 効率化や改善の余地が大きい
□ I. 拡充□ II. 継続□ V. 完了	■事業の見直し方策	_■合後	多の方向性 ————————————————————————————————————
● II. 継続○ V. 完了			
			\smile
□ □ : 縮小		● II.	I. 継続 ○ V. 完了
			Ⅱ.縮小

○ 民間委託等の拡充が十分に可能